

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立日永小学校

校長 柳 川 洋 史

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 地域・保護者とともに協働できる学校づくりを行うために、さまざまな立場や視点から学校運営や学校教育活動への協働・参画・支援等のあり方についての意見や考え等を交流することを通して、子どもを支える学校づくりを推進します。
- ② 学校づくりビジョンにもとづいた学校評価のあり方について、検討・協議を重ね、保護者や地域の方々の思いや願いがより反映された学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援ボランティアやゲストティーチャー等、さまざまな教育活動に保護者や地域の方々等との協働活動を取り入れていくことで、「地域とともにつくる学校」を推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

- 地域の方をゲストティーチャーに招いて一緒に活動し、子どもたちとのかかわりやつながりを広げられるように取り組んでいます。

<地域や人との出会い・発見からの学び>

【1年 生活科『むかしのあそび体験』】

地域高齢者の会“日永ついたち会”の方々にお越しいただき、剣玉やおはじき、お手玉やコマ回し等、昔の遊びを教わり一緒に遊びました。昔の体験談もお話いただきました。



【4年 総合的な学習『日永つんつくおどり』】

「日永つんつくおどり保存会」の皆さんを招いて、「つんつくおどり」について学びました。つんつくおどりの歴史やいわれなどについて教わりました。続いて、昔から伝わる3つの踊りのうちの2つを、振りを教わりながら踊りました。子どもたちは、今まで大事に



守られてきた伝承文化も、これからもみんなで伝えていかないと消えてなくなってしまうことに改めて気づきました。また、地域に伝わる文化を守り、先の世代にも永く伝えていくためにできる活動が続けているという、地域の文化や歴史を思う気持ちを感じ取ることができたようです。

【4年 総合的な学習『見守りボランティア』】

毎日「見守りボランティア」として登下校指導をされている方から、組織の成り立ちや活動のねらい、登下校の様子を見ていて思うこと心配なことなどを聴き、その後、子どもたちが質問しました。入学からこれまでお世話になっている方から、日々見守られていることを改めて感じられる学習の場となりました。

【全学年 読書支援サークル『☆マジョリカ☆』による読み聞かせ】

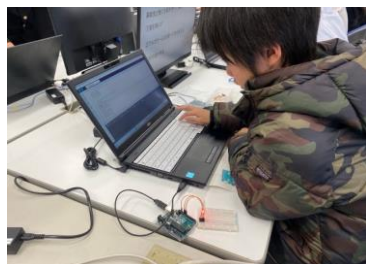
本校保護者らで組織された、読書支援サークル『☆マジョリカ☆』が読み聞かせを行っています。木曜日の20分休みに図書室や視聴覚室で読み聞かせ会が開かれ、低学年を中心に毎回20～30人の子どもたちが読み聞かせを楽しんでいます。また、定期的に学年ごとに時間が割り振られ、朝学習の時間には、各学級ごとに読み聞かせが行われています。



<近隣の学校・園との交流>

【6年 総合的な学習『ものづくり体験学習』】

四日市工業高等学校の協力を得て、高校の実習室を使って「ものづくり体験」の取り組みを計画しました。キーホルダーづくり、ろくろ体験、科学実験、エンジン分解等、四日市工業高等学校の教員と生徒の指導のもと、実際に機会や工具を扱って学習に取り組みました。子どもたちは初めて経験することばかりで、生き生きと活動することができました。



◇運営協議会会議運営の工夫◇

子どもたちの様子を知っていただくため、授業や行事の参観をしていただく機会を設けてきました。今年度は、予定していた5回すべてを開催することができ、授業参観と協議を行うことができました。また、今年度は給食試食会も行い、配膳や子どもたちと一緒に給食を食べていただく機会を作りました。

毎回、集合することで最新の児童・学校・地域の様子や課題をタイムリーに共有することができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本校の課題を改善するため、実際に学校での子どもたちの様子を見ていただきました。また、本校の子どもたちの現状が示された「全国学力・学習状況調査」や「新体力テスト」さらには「児童・保護者・教職員アンケート」の結果分析をその都度、テーマとして運営協議会の中で委員の皆さんから意見をうかがってきました。

教職員とは違った視点からいただいた学習環境や教育内容に関するご意見や日常の児童の登下校の様子をお伝えいただくことができました。ご示唆いただいたことや児童の情報や実態を管理職から職員会議や校内研修会において発信し、改善に努めてきました。

その結果、以下のような効果がみられます。

- ① 落ち着いた雰囲気の中で学習している子どもが多い。また、学習課題や板書の工夫、ICT機器の効果的な活用が図られている。
- ② 学校評価に対し、少数意見にも目を向けているところがよい。肯定的な意見や多数を占めている考えだけでなく、教育活動を多面的に考えていくことは大切である。
- ③ 高学年がいい手本となり、低学年にメッセージを送れるような場を設けようとしている。上級生が下級生の世話をしようとする気持ちが醸成されている。進んで挨拶ができる子に向けた取り組みを継続的に行ってきたことで、あいさつする児童も増えてきている。異学年交流を行うことで、子どもたち同士のつながりがより深い関係性をつくることができている。

運営協議会委員をはじめ、地域の方々に学校教育活動へ関わっていただくことで、教職員も子どもたちも多くの刺激を受け、意欲的に取り組もうとする姿が見受けられました。このことが本校の学校運営に関して好循環を生んでいるように感じます。

3 今後に向けて

各学年において、生活科や総合的な学習の時間を中心に、豊富な知識や技術を持つ保護者、地域の方々に関わっていただきながら学習内容の充実を図っています。運営協議会の中で意見をいただき、取組内容を整理して調整を行うとともに、新たな人材の発掘や拡充をしていきたいと考えています。

また、地域・家庭・学校が一体となり子どもたちと向き合うことで、基本的生活習慣の定着や安全確保の意識を高めることにつながると考えています。今年度も、保護者や

地域の方とのつながりは深く、さまざまな活動にご支援・ご協力をいただくことができました。運営組織の仕組みを整える過程の中で、学校と地域・家庭が協働し、子どもを見守り、育てようとする意識が高まればと考えます。

今後も「地域とともにある学校」として、地域の特色や教育力を可能な限り活用し、子どもたちの将来に生きる力を育んでいきたいと思っています。

四日市市立日永小学校

委員長 堀 越 博 幸

校 長 柳 川 洋 史

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	14日（火） 第1回運営協議会	・「日永小学校学校づくりビジョン」の説明と承認 ・校内授業参観 ・児童の様子と指導について ・年間の主な行事等について
6	26日（水） 第2回運営協議会	・校内授業参観 ・水泳指導・熱中症対応及について ・通学路等交通安全について
7	6日（土）	・四日市CS研修会
8		
9		
10	19日（土） 第3回運営協議会	◇運動会参観
11	25日（月）	四日市CS委員長研修会
12	17日（火） 第4回運営協議会	・校内授業参観 ・児童の様子と指導について ・学校づくりビジョンの進捗について ・150周年記念行事について
1		
2	18日（火） 第5回運営協議会	・校内授業参観 ・児童の様子について ・学校満足度調査結果分析について ・学校関係者評価について ・次年度支援継続のお願い ・給食試食会（参加希望者）
3		◇卒業式 19日（水）【来賓として出席】